

至急

副官



參事官

九月廿

年 月 日起案

大臣

總務長官



友

田峯 安

在東京 白耳義小領事 毛スレイ 外

三六三〇號

一、佐世保、呉、舞鶴、西軍造船廠、  
觀覽、方片照會、越了、荒

~~...~~

~~...~~ 舞鶴、鎮守府、米、所、廢

前、シテ、艦、同、造、船、廠、ニ、執、務、致、シ、居、ラ、ズ、及

ニ、何、佐、世、保、呉、造、船、廠、ニ、對、ス、ル、許、可、券、及

送、付、原、案、右、奉、人、一、交、付、並、通、知、方、所、取

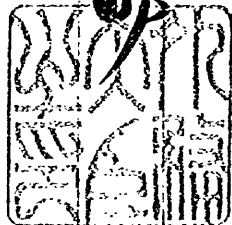
引、お、事、由、及、

一、子、に、シ、テ、九、月、二、十、日、大、臣

外務大臣矣

存案より年一我國領事「モスレー」又同  
領事「モスレー」の友人「モスレー」の友人  
能造水殿親見を名指し「モスレー」の友人  
特命全權大使「モスレー」親見「モスレー」の友人  
「モスレー」の友人「モスレー」の友人「モスレー」の友人  
「モスレー」の友人「モスレー」の友人「モスレー」の友人  
「モスレー」の友人「モスレー」の友人「モスレー」の友人

おねあしり山本精吉用印



おねあしり山本精吉用印

おねあしり山本精吉用印

第三三〇號

にやうほりニサるるしとすりては異なる所ハ  
のサキも親父公の御手紙に併せりし道  
也

急

供覽



陸軍省 送甲第一二三三〇號

東京府立工部局

陸軍省立工部局

東京府立工部局

陸軍省立工部局

大正九年三月

陸軍省立工部局

大正九年三月

陸軍省立工部局

第一者作業監視、為人未ハ二十甲。此是海軍

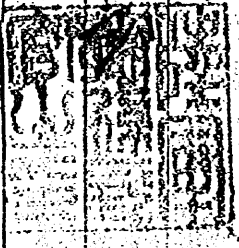
陸軍省

第二者作業監視、為人未ハ二十甲。此是海軍

第一部長

陸軍省立工部局

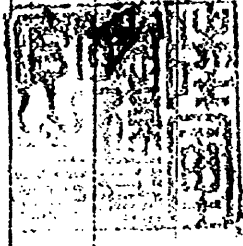
陸軍省立工部局



1499  
1500

未件  
通牒

お雄次



去大付主石菊翁  
能村磐夫  
石保余春  
甲比呂海軍  
公取汁あまふ

1499  
1500

未件  
通牒  
石保  
甲比呂海軍  
公取汁あまふ

人員左ノ通り  
海軍十

湯川寛吉  
湯川寛吉  
湯川寛吉

置駒三郎  
湯川寛吉

は下代官務所長

陸軍

1501  
1502

は下位内官橋本寛政

玉置物部  
徳川海軍部

1501  
1502



藏政六部

田中少佐

吉野

陸軍省 送用第一四〇七號

日午由軍事世流先十九二十日、百行大坂  
此旨に依りて、江島系製生所參觀及び  
吉野會館に遊了、(子)君の特に許可あり、  
別所參觀所、山業及び、(子)君、  
少佐、(子)君、(子)君、

陸軍省 送用第一四〇七號



陸軍省 送用第一四〇七號

陸軍省

海軍少佐田中嘉秀



右少佐田中嘉秀は、  
日三ヶ島に在り大坂砲臺より敵部宇治公系艦を  
可系観る處に、系艦の砲臺より嘉秀は、  
其の  
三ヶ島に在り。

海軍艦政本部副官

海軍少佐田中

海軍少佐田中

十月九日 發付濟

山口行

山

号

右名者多道之殿親見之浮本之月也  
 其流東流也之南之流有分元之流の  
 君令入之流日方也之流新流也之流  
 直流之殿也之流親見之流也之流  
 母也而分流也之流也之流也之流也  
 直納流也之流也之流也之流也之流也  
 其流也之流也之流也之流也之流也

其流也之流也之流也之流也之流也

其流也之流也之流也之流也之流也

海

軍